

# 国際ボランティア学会

ニュースレター NO.4

大阪大学人間科学部ボランティア人間科学講座内  
Tel & Fax : 06-6879-8064

2001年5月25日  
国際ボランティア学会事務局  
〒565-0871 吹田市山田丘1-2

## 《内容》

1. 第2回大会の報告
2. 第2回国際ボランティア学会理事会について
3. 第2回国際ボランティア学会総会について
4. 第1回隅谷三喜男賞
5. 「ボランティア国際年」記念シンポジウムのお知らせ
6. 第3回大会のお知らせ
7. 会費納入のお願い
8. 事務局より

### 1. 第2回大会の報告

平成12年10月28日(土)29日(日)に、兵庫県立姫路工業大学環境人間学部(兵庫県姫路市)を会場に、第二回国際ボランティア学会大会が行われた。2日間でのべ150名ほどの会員が参加し、プログラム通りすべての特別講演・シンポジウム・自由研究発表・課題研究を行った。



### 2. 第2回国際ボランティア学会理事会について

#### 《議題》

1999年度および今年度の会員数と年会費の入金状況

今年度の事業と来年度の事業計画

学会誌発行と編集委員会について

隅谷三喜男賞について

理事と常任理事について

「ボランティアと『教育』」に関する特別委員会の設置について

第3回の開催校について

1999年度の収支報告および今年度の会員数と年会費の入金状況

・収支報告

収入		支出	
設立準備金	¥254,544	通信費	¥144,540
入会金+会費	¥2,057,000	事務費	¥5,775
懇親会費	¥210,000	印刷費	¥126,000
寄付	¥100,000	会議費	¥25,003
大会参加費・懇親会費	¥356,000	旅費補助費	¥106,210
		雑費	¥68,231
		講師謝礼	¥190,000
		懇親会費	¥293,000
		大会開催費	¥300,000
		懇親会費	¥356,000
		備品代	¥35,109
		運送費	¥7,300
収入合計	¥2,977,544	支出合計	¥1,657,168
次年度繰越金	¥1,320,376		

・会員数

一般会員 199名  
 学生会員 18名  
 法人会員 6団体

・入金状況(2000年10月27日現在)

一般：92  
 学生：14  
 法人：3

今年度の事業と来年度の事業計画

・2000年度の事業

第2回大会

『ボランティア学研究』(創刊号)の発行  
 ニュースレターNo.3の発行

収入		支出	
繰越金	1,320,376	大会打ち合わせ費	42,434
年会費	535,000	大会準備費	300,000
		雑貨	15,497
		通信費	108,640
		印刷費（学会誌・要旨集・封筒）	766,500
		通信費（学会誌）	80,000
		事務補助費	120,000
収入合計	1,855,376	支出合計	1,433,071
収支合計	422,305		

### ・2001年度事業計画

#### 第3回大会

「ボランティア学研究」第2号発行  
 ニュースレター発行（年2回）  
 ボランティア国際年に対するイベント  
 広報活動

#### 機関誌発行と編集委員会について

機関誌『ボランティア学研究』（創刊号）が発刊された。

会員以外には頒布価格実費（創刊号は700円）+送料で配布する。

また、編集委員会の体制を見直し、編集委員長を理事から、副編集委員長を現編集委員から選出した。

編集委員長：坂口順治 / 副編集委員長：志水紀代子

#### 隅谷三喜男賞について

選考委員（顧問より次の3名を選出）

飯沼 二郎 今井 鎮雄 塩月 賢太郎

#### 理事と常任理事について

学会誌編集体制を強化するため、新しい理事出と常任理事を編集委員の中から選出することにした。

#### 「ボランティアと『教育』」に関する特別委員会の設置について

内海常任理事を責任者に国会審議などを検討しながら、委員会設置に向けて調整する。

#### 第3回大会について

第3回大会を2001年10月27日（土）28日（日）に恵泉女学園大学（東京）で開催することを総会で諮ることにした。

### 3. 第2回国際ボランティア学会総会について

第2回国際ボランティア学会理事会と異なる部分のみ掲載

《議題》

収支報告および会員数と年会費の入金状況  
今年度の事業計画と予算  
学会誌発行と編集委員会について  
隅谷三喜男賞について  
理事と常任理事について  
「ボランティアと『教育』」に関する特別委員会の設置について  
第3回の開催校について  
その他

収支報告および会員数と年会費の入金状況  
監事による監査を経て、後日、あらためて報告。

- 今年度の事業と来年度の事業計画
- ・2000年度の事業
  - ・現在の収支状況
  - ・2001年度事業計画  
第3回大会  
「ボランティア学研究」第2号発行  
ニュースレター発行（年2回）  
ボランティア国際年に対するイベント（東...新堀理事、西...内海理事が担当）  
広報活動（パンフレットの作成・発送など）  
以上、承認。

学会誌発行と編集委員会について  
学会誌創刊号を学会の広報資源とする。

隅谷三喜男賞について  
承認

理事と常任理事について  
来年の総会では理事選出選挙について提案する。

「ボランティアと『教育』」に関する特別委員会の設置について  
承認

第3回大会について  
承認。

その他

役員の改選方法についての第3回大会で方針を決定することとした。

なお、総会にさきがけて、2000年1月に亡くなられた草地賢一理事および9月に亡くなられた有馬実成氏の冥福を祈り、黙祷が捧げられました。

#### 4. 第1回隅谷三喜男賞

飯沼二郎・今井鎮雄・塩月賢太郎各顧問からなる選考委員会により、次の1団体・1個人に対して第1回隅谷三喜男賞を授与することになりました。

- ・阪神大地震被災地 NGO 協働センター（代表：村井雅清）  
トルコ大地震をはじめとする海外での災害救援活動に対して
- ・坂口緑

公共性と教育に関する理論的・実証的研究に対して（「教育の『公共性』をめぐる一考察」『ボランティア学研究』No.1）



右から 今井顧問・坂口氏・村井氏・隅谷会長

## 5. 「ボランティア国際年」記念シンポジウム

5月12日（土）に東京 YMCA にて、「ボランティア国際年」記念シンポジウムが行われました。司会の坂口常任理事によるシンポジウム報告です。

\*\*\*\* \* 国際ボランティア学会「シンポジウム」の報告要旨

### 国際ボランティア学会「シンポジウム」の報告要旨

坂口 順治

主題 『新しい世界を創るボランティア』

日時 2001年5月12日（土）2:00～5:00PM、東京 YMCA 国際奉仕センター

シンポジスト 村井吉敬（上智大学アジア研究所教授）

長澤勲（関東学院大学講師）

塚越悦子（国際ボランティア計画東京連絡所リエゾンオフィサー）

司会 坂口順治（平安女学院大学学長）

総合司会 新堀邦司（東京 YMCA 総主事）

21世紀を迎えた変革期のボランティア活動はどのようなものになるのか。国際ボランティア年を記念して、国際的活動を積極的にしている3人のシンポジストに登場していただいた。参加者は96名。

村井氏は、アジア太平洋の NGO の実践経験と研究から、21世紀は自らがすすんで心地よい世界を築きあげていく市民の行動の大切さを強調した。20世紀は進歩と繁栄の時代と呼ばれたが、国家と企業が主役の戦争と飢餓という殺戮の時代であった。それが現在、破綻した。いま、地球の全市民が国境を越えてその矛盾を解決していくときである。21世紀は国際 NGO が市民の立場で解決していかなければならないと述べた。

長澤氏は、エイズや国際食料計画などのボランティア活動の経験から、ボランティア活動をする側だけが強調されているようだが、される側のニーズや人権を無視して一方的に押しついたり、ボランティアがファッション化していないかという疑問を投げかけた。また、活動が公共性をもった市民活動でありながら、官の手先か補完的活動になってはいないかなどの疑問を投げかけ、市民の結束で目的課題解決型の活動が必要だと説いた。そのためにボランティア活動のマネジメントの発展が大切であると主張した。

塚越氏は、学生時代から自らのボランティア経験を述べながら、人生観に大きな意味をもつのがボランティア活動で、自発的社会参加活動の大切さを強調した。国連事務総長のアナン氏の言葉を引用して、ボランティア活動は「分かち合うこと sharing」、人々とともに生きることに意味を見出してこそ力が湧いてくることを述べた。「国際ボランティア計画」の紹介をしながら、ボランティアに参加し易い社会を創り出し、その活動の重要性を知らせ、そして活動している仲間の連携し、さらに活動が活発になるためのアピールを行動で表すことの大切さを訴えた。

その後、質疑応答を繰り返しながら会場は活発な意見が飛び交った。ボランティアをされる側とする側の認識の違い、活動マネージメントのあり方、ボランティア教育の義務化の問題など多岐にわたって会場は盛り上がった。

全体を通して、1、現在は変革期にある。時代精神、社会規範、二項対立的発想（官と民）などがパラダイム・シフトをしており、モノ中心の価値からココロ中心の価値に変革している。それに伴い、企業や役所の主導時代から市民中心の世界を形成しつつある。2、しかし、市民活動の活発化や連携組織化などは未だ不十分である。したがって、市民活動の強化につとめたい。3、同時に現在の矛盾した社会問題には力を合わせて批判する。4、新しい世紀は地球市民の共同体づくり。ボランティア・スピリットの啓発教育を行い、各自の持ち場で希望をもって行動していこう。という要約になる。

約3時間にわたる熱気ある会合であった。

\*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*    \*\*\*\*

また、6月16日（土）に神戸においても「ボランティア国際年」記念シンポジウムを行います。詳しくは、同封の案内をご参照ください。

## 6. 第3回大会のお知らせ

第2回国際ボランティア学会総会での了承を受け、第3回大会を2001年10月27日（土）・28日（日）に、恵泉女学園大学（東京都多摩市）において、開催する予定です。  
なお、詳しい内容は、後日お知らせいたします。

## 7. 会費の支払いのお願い

2001年度分会費の納入をお願いいたします。今年度の会費は以下の通りです。同封の振り込み用紙をご利用ください。

〔年会費〕

一般会員：5,000円 / 学生会員：2,000円 / 法人会員：10,000円

なお、今年度新規に入会された方は、入会金も会費とあわせて納入してください。

〔入会金〕

一般会員：5,000円 / 学生会員：2,000円 / 法人会員：10,000円

## 8. 事務局からのお知らせ

ボランティアや市民活動などに関する情報やエッセイなどがありましたら、お手数ですが学会事務局までお送りください。あわせて、紙面へのご意見・ご希望などもお待ちしております。

また、住所・所属等を変更された場合は、速やかに事務局までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。